



読字 原田 鏡

No. 703

2013/6/5

日中友好新聞

発行所
日本中国友好協会
〒110-0054 東京都千代田区千代田1-1-1

日中友好協会
岡山支部
〒700-8256 岡山県岡山市東区3-8-30
TEL:086(272)-3010
郵便番号1100 01250-0-3835

日中友好協会
倉敷支部
〒713-8511 倉敷市遊島中央1-8-1
TEL/FAX:086(446)-2711

日中友好協会岡山支部ホームページ
<http://rizhong.biz/>
メールアドレス
rizhong86@hotmail.co.jp



中国帰国者問題写真展

一感想とアンケート一

中国帰国者問題写真展のつづきです。4月22日と24日の二日間、展示内容の説明をされた、船越さんの感想と、船越さんをテレビで見て、真庭市の勝山から来られた人のアンケートを紹介します。

船越さんは、1928年(昭和3年)生まれで、37年に一家で龍爪開拓団に移住し、45年の敗戦の年には、17歳でした。1985年に帰国するまで中国残留婦人として新中国で生活しました。帰国後は、中国語が話せ、開拓団出身者ということ

で、岡山県や市の要請を受け、中国帰国者の支援・相談員として、全身全霊をかけてお世話をしてきました。

帰国者からは絶大な信頼があり、お姉さん、お母さんと呼ばれています



左の人が船越さん 右が井上さん

写真展を通して

今回の写真展で一番感心したことは、小林軍治さんが、二、三歳のころの写真でした。この小さな足でよく三〇〇キロ

もある横道河子までの道のりを歩けたものだ、と。当時、牡丹江の橋は日本軍に落とされ、そのため私たちは川上の方を歩いて渡らねばならず、体力のない子供は次々と亡くなりました。いまでも当時を思い出すと涙が出てきます。

写真展には市役所に用事で来られた人も興味深く見てくださり、以前取材していただいた山陽新聞の記者の方にも何年かぶりにお会いできました。また最終日には、先日山陽放送で放送された私のインタビューを見たと言って、真庭市から片道車で二時間もかかる

真庭市の勝山から来られた人の写真展のアンケートから

私は、勝山にお嫁に来て初めて、孤児のおじさんがいて、一時帰国した時のことを聞きました。その後、永住するための手紙のやり取りもすべて教えてもらい、帰ってきたときの私たち夫婦の負担はどうなるのか、生活できなければ私たちだが両

ころを見に来てくださった方もおられました。お話を伺ったところ、私がお世話をした龍爪開拓団の孤児のご家族とのことで、久しぶりにお会いできてとてもうれしかったです。

日中国交が回復して残留邦人がどんどん祖国に帰国するようになり、私も県庁から頼まれて自立指導員となって帰国者のお世話をするようになりました。現在は岡山市の支援相談員を任命され、今年で四〇年になります。

残留孤児として祖国に帰国した人ももう七〇歳になりました。いまだに残る戦争の傷跡を深く考え、帰国してから配偶者を亡くされた方々にとっても少しでも支えになれるよう、私の健康の続く限りがんばっていきたく所存です。

船越美智子

親とおじさん親子を面倒みるのかと、いろいろな考えが思い浮かびました。家族で話し合いを何度もして、一番いい方法で帰国して、いまはとても安心しています。それぞれ家庭を持って生活している子供(いとこ)さんも、私

四川省蘆山県 大震災の募金

4月20日午前8時2分にM7.0の大地震に見舞われ、被災者199万人、犠牲者193人という被害者がうまれました。

日中本部は「東日本大震災」のとき物心両面から支援をしてくれた中国の災害に支援金を呼びかけました。全国大会までの短期間ですが、全国から中日友好協会支援の募金がよせられています。

岡山支部は5月の理事会で役員さんたちがそして会員や太極拳有志からいただいた支援金2万円を本部に送りました。ありがとうございます。

2013.5.31 (竹)



たちにとっても感謝してもらっています。このいい関係をいつまでも続けていけたらと願っています。

帰国時のことを知っている人が一人二人と亡くなっていくのはとてもさみしいです。船越さんいつまでもお元気です!!

江田五月議員と懇談

中国帰国者の尊厳を回復する会は、岡山法律事務所民主党の江田五月議員と約三十分懇談しました。

則武事務局長が、中国残留孤児配偶者問題の支援要請を行いました。江田議員は要請の内容は良く理解できると、その場から民主党の担当者に電話を入れてくれました。

その後、平本副会長、則武事務局長、高杉会計と小生の四人で、自民党の山下貴司議員と逢沢一郎議員の事務所を訪れ、秘書の方に六月十七日の第2次院内集会への参加要請を行いました。

岡山からはこの院内集会には、則武事務局長(弁護士)と赤沢さん(配偶者)二人が参加予定です。

小林軍治



ニホン人は、なぜ、ニホン語をおしえることができるのか？

48

竹内和夫



ニホン語と中国語とハワイ語

C: 中国語の母音が、ニホン語よりひとつ多いのは、前舌高母音 /i/ にくちびるの丸めが加わったからだ。例: 衣 /i/ と 雨 /ü/ 七 /qi/、去 /qü/ この区別は、ニホン人には少しむずかしい。ドイツ人にはやさしい。

/e/ は単一の母音として、また -r と -ng の前では後舌母音であるが、/ü-、i-、-i、-n/ に同化して前母音になる。/i/ は /s、z、ch、zh、sh、r/ のあとでは、子音の発音位置を保った母音に変質する。

/a/ も /i/ と /n/ の間で [ɛ] と発音される。以上いずれもむずかしい。よく練習しなければならない。

C: つぎに、ハワイ語で区別すべき母音はニホン語とおなじく5つだからやさしいが、/u/ は口をもっと丸める(中国語、英語、スワヒリ語、フランス語でも同じく)。

例: /aloha/ (愛、愛するアロハ) /kanaka/ (人 カナカ) /hula/ (踊り、踊る フラ) /keiki/ (こども ケイキ)。アクセント(強さ)は、後ろから2番目の母音に。ただし長母音 a、e、i、o、u と二重母音 ae、ai、ao、ei、eu、iu、oi、ou はそれぞれ1音節と認められる。これらは、前の母音に常にアクセントがあるから、ニホン語 /hae¹ ru/ (生える)、/sao¹/ (竿) /ii¹ nkai/ (委員会) /ao¹ i/ (青い) などとことなる。

つづく

倉敷支部 2013 年度支部総会開催

6月15日(土) 10時00分~12時00分

福田町 ライフパーク倉敷 1階 視聴覚室

ご案内が遅くなり申し訳ありませんが、上記日程で支部総会を開催します。

万障繰り合わせの上是非ご参加下さいませようお願い致します。多くの皆様のご意見を得て、今後の日中友好運動の進め方について話し合いをしたいと思っております。 会員あと一歩で100人!

倉敷支部共催で太極拳講座 を開講します。

みなさまも、日頃から健康管理にいろいろ取り組んでおられるとおもいますが、太極拳については日中も全国的に沢山の組織や集まりがあり、会員の健康増進と日中友好の取り組みとして活動しています。

この度、支部として取り組みたいと思っておりますのでご参加下さい。愛好家の方、これから始めようと思っている人が周りに居られましたらご紹介下さい。

2013年7月5日(金)より

毎週金曜日 10時より12時まで

水島生協会館 大ホール
講座料 月4回 3,000円



主催 医療生協 アカシア班 共催 日中友好協会倉敷支部

第26回 岡山きりえ展

2013 6/18(火)~6/23(日)

9:00~17:00(最終日は16:00まで)

岡山県天神山文化プラザ2F第4展示室

主催:岡山きりえの会 協賛:日中友好協会岡山支部
後援:日本きりえ協会、岡山市教育委員会



5月25日(土)午後6時半から禁酒会館で、オザキツトムさんのマンスリーライブが開催されました。今回はいつもの毎月第1金曜日ではありませんでした。よしだよしこさんは1970年代からフォークを歌いはじめますが、一時、歌うことをやめていました。復活したのは1999年です。今は、年に100回ほど日本中をまわって歌いつづけています。小さな喫茶店や、集会所など数人の人々でも彼女は歌ってくれます。もちろん被災地でも。一度でも彼女の歌声を聴いた人ならわかってくれると思うのですが、心がいやされるのです。そして彼女の歌の中へ、私たちも一緒に入っているのです。共感ということばとは少し違う気がするのですが、同じ時間を生きている、同じ痛みを感じることが出来る、今という時代と一緒に体感している

よしだよしこさんを聴いて

日中倉敷支部 第11回 中国問題文化講演会 講師決まる

演題は、仮称「中国の教育事情について」中国で教鞭を取って居られる 曾田先生の一時帰国の好機に合わせて、最近の中国での教育事情について解り易く、お話をさせて頂けることになりました。9月に成ると思いますが、日時、会場等は追ってお知らせします。

真田紀子

ことばにするのは難しいですね。今回、最も心に響いた歌は忘れないということという歌です。長い歌ですが、ここに一部抜粋します。

作詞・作曲 よしだよしこ
語り継がねばならぬこと

それは難しいことではなく私知ってしまったことあなたが気付いてしまったこと希望という言葉からは暫くのあいだ放り出されてしまった人たちのすすり泣きの嵐

次回の新聞発送作業は
6月21(金)午後1時半
民主会館2階で行います。
前回お手伝いくださった方です。

小林
竹内和
竹内袈